

# 生き方 小学校



小学校中学年以上

中学校

道徳

総合

みんな生きてる

🕒 15分

## 捨てられる命

(2008年放送)

### この番組の良さ



#### 生き物を飼う責任・「いのち」を考える

秋田県動物管理センターには、人間に捨てられた犬や猫たちが運び込まれます。1年間で、およそ2000匹のペットが持ち込まれ、そこで最期の日を迎えています。職員たちは、動物たちの生命を少しでも助けようと努力していますが、救うことができる生命は、ほんのわずかです。人間の都合で生命を左右される動物の姿から、生き物を飼う責任や「いのち」について考えていくことができます。

#### 生命の大切さを伝える資料として

学習指導要領では、道徳は要の学習として取り扱われています。その道徳の中でも、中心となって指導すべき価値項目が「生命の大切さ」です。しかし、「生命の大切さ」は、副読本だけではなかなか指導できにくいのが実情です。本番組は、具体的な事例を映像で伝えてくれ、効果的な資料として活用できます。

### 番組活用のポイント

#### 自分と動物とのかかわりをスタートに

授業は、子どもたちと動物とのかかわりについて、ふり返るところからスタートします。「今まで動物を飼ったことがありますか。」「動物と一緒にいるとどんな気持ちになりますか。」など、これまでの自分と動物とのかかわりや動物への愛着についてふり返ります。また、ふり返る中で、動物も人間と同じで、たった一つの生命しかないかけがえない存在であるということも押さえておきます。人間と動物との関係や生命について、きちんと確認しておくことで、番組視聴による「いのち」についての考えが、より深まっていきます。

#### 「いのち」についてストレートに話し合う

番組視聴後は、主題である「いのち」について、しっかり話し合うようにします。「どうして、捨てられる命があるのか。」「命が捨てられなくてもすむ方法はないのか。」など、ストレートに「いのち」について、子どもたちと話し合い、考えていくようにします。本番組を題材にして、本音で話し意見交換する中で、人の生活と動物との関係やペットと自分たちのかかわり方、「いのち」を大切にするために、自分たちができることはどんなことがあるか、考えを深めていくことができます。

#### 「いのち」についての学習を総合単元的に

「いのち」について、さらに学習を深めたい時は、他の番組を資料として活用すると効果的です。生き物とのかかわりから生命の重さを考える番組『命の恵みをいただきます』(P.14)、相手の気持ちを考え、互いの「いのち」を大事にすることを考える番組『いじめをなくすには』(P.12)が活用できます。学級の子どもたちの実態に応じて、これらの番組と副読本の資料を関連させ、「いのち」についての学習を総合単元的に実施することで、さらに効果が期待できます。

## 学習展開例

授業時間 45分

人間の都合で捨てられる「いのち」  
「いのち」についてしっかり考えよう

時間配分	学習活動	教師の支援
8分	<p>①これまでの自分と動物とのかかわりについて、ふり返る。</p> <p>②人間に捨てられた動物について、話し合う。</p>	<p>○「今まで動物を飼ったことがあるかどうか。」「動物と一緒にいるとどんな気持ちになるか。」などと問い、これまでの自分と動物とのかかわりや動物への思いについて、ふり返る。</p> <p>○捨てられた動物は行き場がなくなり、動物管理センターに運び込まれることを教え、その後どうなるかを知ること、[いのち]の学習をしていくことを伝える。</p>
17分	<p>③番組を視聴しながら、考える。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p><b>視聴TV</b></p> <p>・タイトル画面「捨てられる命」 (開始～0分58秒)</p> </div> </div> <p>○タイトル名「捨てられる命」の意味について考える。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・動物たちのお墓の前で、お祈りする所長の坂本さん。 (0分58秒～5分14秒)</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・動物の命について自分の思いを語る坂本さん。 (5分14秒～14分33秒)</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・最期の時を迎えたペットの様子。 (14分33秒～終わり)</p> </div> </div>	<p>○番組にひたりきることができるよう、メモはとらせないようにする。</p> <p>○タイトル画面(0分58秒)で一時停止し、「捨てられる命」とは、どういう意味だと思うか、考えながら視聴するよう呼びかける。</p> <p>○「本当は助けたいのにそれができない悔しさと戦いながら、この仕事をしています。」(5分14秒)で一時停止し、坂本さんがなぜ悔しいのか、番組を見ながらしっかり考えるよう声かけする。</p> <p>○坂本さんが自分の思いを語る場面(14分33秒)の坂本さんの言葉について、しっかり考えるよう声かけする。</p> <p>○「ペットたちは、何も言えないまま、最期の日を迎えているのです。」というナレーターの言葉(14分52秒)を、しっかり押さえておき、次の学習活動につなげるようにする。</p>
15分	<p>④番組を見ての感想をもとに、生き物を飼う責任や「いのち」について話し合い、考える。</p>	<p>○「どうして、捨てられる命があるのか。」と問い話し合うことで、人間の都合で生命を絶たれることの不合理性に気付くことができるようにする。</p> <p>○「命が捨てられなくてもすむ方法はないのか。」と問い意見交換する中で、動物の生命を預かる人間の責任の重さを感じ取ることができるようにする。</p> <p>また、「いのち」を大切にするために、自分たちができることはどんなことがあるか話し合い、考えを深めていくことができるようにする。</p>
5分	<p>⑤今日の学習のふり返りを書く。</p>	<p>○今日の学習で学んだことをノートなどに書かせ、時間があれば、ふり返りや感想を交流し、友達のいろいろな考え方にふれることができるようにする。</p>